



# 宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所)



## 復興支援ニュース Vol.29

平成25年12月

仮設石巻市夜間急患センターが開設してから2年。より多くのご利用を。



【佐藤センター所長(左)】

【庵原看護師長(右)】

仮設石巻市夜間急患センター(石巻市日和が丘一丁目2-11)は、震災で全壊したセンターを移転再開してから12月1日で2年が経ちました。

センターの佐藤所長は2年間を振り返って、「もっとセンターを利用してほしい。軽症の患者さんを診療する医療機関ではない石巻赤十字病院に患者さんが集中している。」とお話されていました。

診療科目は内科・外科・小児科の3科で、スタッフは、常勤医師2名、放射線技師3名、看護師18名の体制。仮設石巻市夜間急患センターは、旧石巻市役所や石巻中央公民館の近くで、駐車場もあります。医療設備も充実しており、もしもの時はぜひ利用してください。

なお、診察時間は一部不規則になります。詳細は、仮設石巻市夜間急患センター 0225-94-5111 までお問い合わせください。

	曜日	小児科	内科・外科
診察時間	月～金	午後7時～午後10時	午後6時～翌朝7時
	土	午後6時～翌朝7時	午後6時～翌朝7時
	日・祝	午後6時～翌朝6時	午後6時～翌朝6時

※翌日が休日の場合の内科・外科の診療時間は、翌朝午前7時までとなります。



### 感染症予防セミナーが開催されました

インフルエンザや感染性胃腸炎の流行に備え、11月22日に感染症予防セミナーが開催されました。

保育所や高齢者介護施設の職員など80名が参加し、国立感染症研究所の中島先生を講師に、感染症の基礎や流行しやすい感染症についての講義のほか、DVDを使って施設内で感染症が発生した時の具体的な対応について学びました。

感染経路を理解した上で対応することや、手洗いの重要性について改めて認識する機会となりました。



【セミナーの様子】

### 仙台いのちの電話石巻分室が開所されました

社会福祉法人仙台いのちの電話の石巻分室が、11月1日に開所されました。仙台いのちの電話では、ボランティア相談員が24時間体制で自殺予防のための電話相談を行っており、今回の石巻分室開所は、石巻地域などの県北の拠点として相談活動の充実を目指していくためのものです。

開所式で、飯岡理事長は「今後、石巻地域の相談員を増やしていきながら、仙台本室、石巻分室が連携して多くの相談に対応していきたい。」と述べていました。



【相談スペース】

相談窓口 仙台いのちの電話 022-718-4343

## アルコールの飲み過ぎにご注意を！

震災後、気分の落ちこみやこころの傷をお酒で解消したいと考えがちですが、お酒の量が増加し体を悪くしたり、周囲とのトラブルになることがあります。



石巻保健所では、アルコールの問題で悩んでいるご本人や、ご家族の相談を受けつけています。相談は専門の相談員が担当します。また、ご家族の方を対象とした家族教室を1月から4回シリーズで実施します。ご家族の皆さんも、健康を取り戻すため病気の特徴を学んでみませんか。

なお、相談・家族教室は事前の予約が必要になります。

**相談窓口 石巻保健所 母子・障害班**

**0225-95-1431**

## 食品年末一斉取り締まりを実施中です

食品衛生班では11月1日から食品の年末一斉取締りを行っています。年末における食中毒の発生防止を図るため、飲食店、食品製造業者、スーパーマー



ケット等に対し、監視指導の強化を図っています。調理従事者等の衛生管理の徹底を指導するほか、食品の適正表示の確認や放射性物質検査を含む食品検査を実施しています。

## ノロウイルスから身を守りましょう

冬季に発生する食中毒はそのほとんどがノロウイルスによるものです。特に昨年のノロウイルスによる食中毒の全国の事件数は、過去10年間で2番目に多くなっており、注意が必要です。

ノロウイルスは手や食品などを介して人に感染し、おう吐や激しい下痢、腹痛などを起こします。常日頃から手洗い、食品の加熱、調理器具等の消毒をしっかりと行い、ノロウイルスから身を守りましょう。



### 編集後記



本年も残り1ヶ月となり、寒さが一段と厳しい季節がやってきました。冬は空気の乾燥や免疫の低下によって、感染症が流行するので、手洗い・うがいや防寒を徹底してください。また、慶長遣欧使節出帆400年とサン・ファン館の再開館を記念したイベントや復興市・かき祭りなど、楽しく美味しいイベントが多いので、どんどん参加して心も身体も健康になりましょう。

## 自殺予防対策研修会を開催しました

長引く避難生活、復興住宅等への移転による環境の変化は、精神面にも大きな影響を与えています。

石巻管内では、今年の9月時点で46の方が自ら命を絶たれており、一昨年、昨年に比べ増加傾向にあります。

そこで、医療関係者や地域保健福祉関係者等を対象に兵庫県こころのケアセンター加藤寛所長を招いて自殺予防対策研修会を開催しました。

心のケアは生活再建、生活支援の中に溶け込ませ、安全、安心できる環境・役割の回復・コミュニティの再建が礎になると講話されました。また、支援者自身のセルフケア及び活動の良い面を評価する事も大切であると話がありました。

## 派遣職員を紹介します



**新潟県から来ました  
保健師の星野 です**

**新潟県魚沼保健所より派遣**

新潟県内でも指折りの豪雪地である魚沼保健所から、派遣になりました星野です。魚沼保健所から東部保健福祉事務所への派遣は、私で3人目となります。

私は、平成23年9月に気仙沼市に派遣されており、宮城県は2回目の派遣になります。

震災前に見た宮城県の美しい海と景観が忘れられません。年の瀬の1か月と短い期間ではありますが、少しでもみなさまのお役に立てるよう努力しますのでよろしくお願ひします。



**【星野保健師】**

### 問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所  
企画総務班 企画調整グループ  
(石巻市東中里1-4-32)  
H P: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc>  
T e l: 0225-95-1416(代表)  
F a x: 0225-94-8982